

158.救急外来で施行した血液ガス検査症例に対する後ろ向き研究

研究の概要

救急外来で動脈血血液ガス分析を施行された患者さまに関しまして、データ間の関係や、年齢、予後などを後ろ向きに解析することにより、生存回復できるpHや血清カリウム値の閾値を調査します。

研究の目的と方法

まず当院検査科のコンピュータを用いて、2020年4月1日から2021年3月31日までに当院で測定された動脈血血液ガス（約3000患者）のデータを解析し、血液ガス分析装置のデータ間、および年齢間関係を調べます。また、pHの異常値、Kの異常値の症例から一定数（数十件～数百年）抽出し、電子カルテを後ろ向きに閲覧し、各種データ（病名、転帰他）を調査し、データベースを作成し、解析し、学会の報告、あるいは論文作成に用います。電子カルテを閲覧する対象患者さまの数は数十例から数百例未満と見込まれます。

本研究の参加について

該当する患者さまの電子カルテ上の情報を、当方で集計させていただきますので、改めてアンケートに答えていただいたり、同意書をいただいたりすることはございません。ご参加の御意志をあらためて確認することもございません。

個人情報はずべて匿名化して報告させていただきますので、個人のプライバシーは守られています。

万一、この調査に参加したくない患者さまがいらっしゃいましたら、当方にご連絡いただきますと集計からはずさせていただきます、調査を中止させていただくことが可能です。ただし学会発表後や論文の報告後は集計からはずすことは現実的に不可能になります。

調査する内容

測定年月日、年齢、性別、血液ガス分析データ、診断名、経過、転帰、などです。

調査期間

研究対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日

研究実施期間：倫理委員会承認後～2024年3月31日まで

研究成果の発表

結果を日本内科学会（またはその他の学会）で発表させていただきます、医学論文として報告させていただく予定です。

当院における研究責任者

臨床研究部長 富田正郎

問い合わせ先

860-0008 熊本県熊本市中央区二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 臨床研究部長 富田正郎

電話 : 096-353-6501